

機械器具(21)内臓機能検査用器具  
一般医療機器 心電計ケーブル及びリード 35562010

誘導コード BJ-211E  
誘導コード BJ-212E  
誘導コード BJ-213E

**禁忌・禁止**

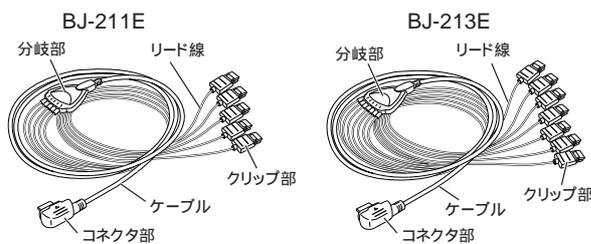
併用医療機器 [相互作用の項参照]

- 磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)

**形状・構造および原理等**

本品は、長時間心電図記録器(RAC-2100シリーズ)用の誘導コードです。リード線の本数の違い(誘導数の違い)により、下表の3種類があります。

使い分けの詳細は、本品を使用する長時間心電図記録器(RAC-2102/2103)の取扱説明書を参照してください。



**種類**

誘導数と適用機種は下表のとおりです。

型式	誘導	全長	適用機種
BJ-211E	2	1.5m	RAC-2102、RAC-2103
BJ-213E	3	1.5m	RAC-2103
BJ-212E	12	1.5m	RAC-2103

**成分\*\***

クリップ部 上部: POM樹脂  
下部: PBT樹脂  
ケーブル、リード線 PVC  
分岐部 PVC  
コネクタ部 PVC、ABS樹脂、PPS樹脂

**使用目的、効能または効果**

**使用目的**

患者の心電図信号を心電計( ECG )に伝達する装置です。本品は、あるパターンに従って電極を用いて胸部に取り付けます。

**品目仕様等**

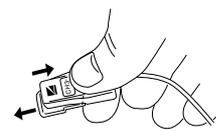
電気的性能  
耐電圧 シールド 外装間 AC1,500V  
クリップ金属部 シールド間 DC100V \*  
絶縁抵抗 各端子間 100M 以上 \*\*  
導体抵抗 コネクタ部 - クリップ部間 10 以下  
機械的性能  
引張強度 コネクタ部 - クリップ部間 100N以上\*

**操作方法または使用方法等**

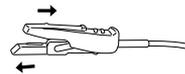
**使用方法**

電極にクリップ部を挟み込む・装着する

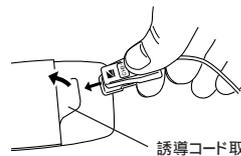
[注] 線材を強く引っ張ったり曲げたりしないでください。破損およびコードの断線の原因となります。



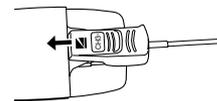
1. クリップの凸部に指を引っ掛けるようにして、図のようにクリップをスライドさせて開きます。カチッと音がして止まるまでしっかりと開きます。



2. 電極の誘導コード取付け部を図のように矢印の方向にはがして、取付け部がクリップの奥までしっかり入るように差し込みます。



3. 誘導コードのクリップのむらさき色の部分をスライドさせて、電極の誘導コード取付け部をはさみ込みます。

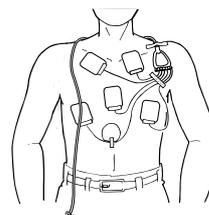


[注] 検査中にクリップが外れることがないように、電極をしっかりとはさんでいることを確認してください。

4. 電極の粘着面になるべく指が触れないように注意して、シートから電極をはがします。

5. 皮膚の前処理を行った装着部位に電極の誘導コード取付け部から外側に向かって軽くなでつけ、皮膚に貼り付けます。

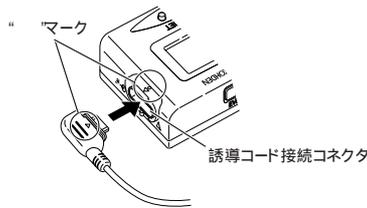
6. 誘導コードを首にまわし、肩のあたりとコードの分岐部をサージカルテープで止めます。



7. 被検者に衣服を着させて、装置が衣服の外に出るようにします。

誘導コードは、あらかじめ装置に接続されていますが、破損などで誘導コードを交換する場合は、次ページの手順で行ってください。

コネクタを装置に接続する  
誘導コードと装置のコネクタの マークをあわせて接続します。

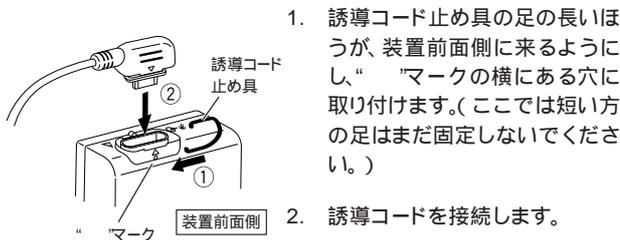


- [注]•コネクタの抜き差しは、ねじらずにまっすぐ行ってください。コネクタピンの破損の原因となります。
- 誘導コードは必ず、装置の誘導コード接続コネクタへ接続してください。
  - 誘導コード接続コネクタへは指定の誘導コード以外接続しないでください。コネクタ部の破損の原因となります。
  - 誘導コードの挿入部のパッキンは傷をつけないでください。

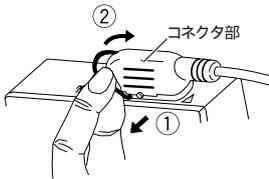
#### 誘導コード止め具を取り付ける

装置付属の誘導コード止め具を取り付けると、コードの抜けを防止できます。

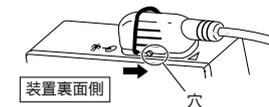
- [注 誘導コード止め具を取り扱う際は、指などを傷つけないよう気をつけてください。



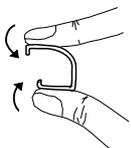
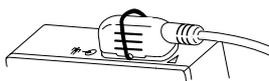
1. 誘導コード止め具の足の長いほうが、装置前面側に来ようようにし、「マーク」の横にある穴に取り付けます。(ここでは短い方の足はまだ固定しないでください。)
2. 誘導コードを接続します。



3. 誘導コード止め具の短い方の足を持ち上げながらコネクタ部にかぶせます。



4. 誘導コード止め具の足の短い方を、コネクタ部の、装置裏面側にある穴に差し込みます。



頻繁に着脱をすることで誘導コード止め具が広がった場合は、左図のように止め具を内側に少し曲げてください。

## 使用上の注意

### 重要な基本的注意

- 本品は、心電図をとる目的以外には使用しないでください。また、長時間心電図記録器 (RAC-2100シリーズ) およびディスプレイ電極 NC-100シリーズ ビトロード以外の製品を接続して使用しないでください。本品および電極を含めた装着部の安全性は、接続する機器側の性能に依存します。指定外の機器を接続すると、被検者が電撃を受けることがあります。
- 本品は、薬液や水に触れないようにし、濡れた状態では使用しないでください。

相互作用 (併用禁忌・禁止:併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MRI装置)	MRI検査を行うときは、被検者から取り外すこと	誘導起電力により局部的な発熱で被検者が熱傷を負うことがある

相互作用 (併用注意:併用に注意すること)

#### 除細動器

- 除細動を行うときは、リード線および電極を患者からはずしてください。[ 除細動器のパドルが直接接触すると、放電エネルギーにより熱傷を生じることがあります。また、RAC-2100シリーズは除細動器に対しての保護がありません。放電エネルギーにより、装置が破損することがあります。]
- 除細動を行うとき周囲の者は、被検者の体の一部および被検者に接続されている装置やコード類の金属部分には触れないでください。[ 放電エネルギーにより電撃を受けます。]

## 貯蔵・保管方法および使用期間等

### 使用環境条件

温度範囲	10 ~ 45 **
湿度範囲	10 ~ 95%(結露しないこと) **
気圧範囲	700 ~ 1060hPa

### 保存環境条件

温度範囲	- 20 ~ 65
湿度範囲	10 ~ 95% **
気圧範囲	700 ~ 1060hPa

### 耐用期間

本品は消耗品です。開封時に傷、破損があった場合、材料に変質が見られた場合は、無償交換いたします。

## 保守・点検に係る事項

### 清掃・消毒・滅菌

本品は定期的に清掃・消毒してください。

#### 清掃

水またはぬるま湯に湿らせたガーゼ、または酒精綿で軽く拭いた後、柔らかい布等で水分を拭き取ります。

#### 消毒

消毒用エタノール(日本薬局方基準を満たすもの。濃度:15 でエタノール76.9 ~ 81.4vol%)を含ませたガーゼなどでよく拭き取り、十分に乾燥させます。

- [注]•本誘導コードは滅菌できません。

- コネクタ部は乾拭きのみにしてください。
- クリップ部を濡れたままにしないでください。心電図が正しく記録できません。
- シンナー、ベンジン、工業用アルコールなどは使用しないでください。リード線の被覆が溶けるなどして使用できなくなります。

### 交換・廃棄

#### 交換

誘導コードが断線したときは、新しいものに交換してください。

#### 廃棄

使用できなくなった誘導コードは、医療廃棄物として、専門の業者に依頼して廃棄処理してください。

## 包装

1本単位で梱包

製造販売 **日本光電** 日本光電工業株式会社  
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560  
(03) 5996-8000(代表) Fax(03) 5996-8091

製造業者 **日本ビニールコード株式会社**